

平成 20 年度

決 算 説 明 資 料

中 頓 別 町

目次

議会費	2
総務費	3
民生費	15
衛生費	22
農林水産業費	27
商工費	33
土木費	35
消防費	37
教育費	38
特別会計	43

()内の数字は当初予算計上額

議会費

〈議会費〉

(担当：議会事務局)

議会の活動に要する経費 **3,859万円(3,854万円)**

この経費は、主として議員の報酬、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われる他、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成にかかる会議録調製委託料、事務局職員の人件費などに充てられました。

■議員に関する経費

- 議員の報酬、議員共済負担金・事務費 2,151万円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察などの費用弁償 54万円
- 議員公務災害補償組合負担金 4万円

■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 1,406万円
- 事務局職員の普通旅費として 13万円

■参考人等に関する経費

- 参考人、講師の費用弁償 7万円

■事務的経費

- 議会だより印刷費 122万円
- 議会だより配付料 1万円
- 燃料費、消耗品代 7万円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代 21万円
- 会議録調製委託料 70万円

■その他の経費

- 議長交際費 3万円

【参考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(平成21年3月31日現在)

町村名	順位	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
枝幸町	①	4,620,000	①	3,465,000	①	3,052,500	①	2,887,500
浜頓別町	⑤	3,370,500	②	2,969,250	②	2,808,750	②	2,648,250
利尻町	③	3,525,000	④	2,850,000	④	2,700,000	④	2,550,000
利尻富士町	④	3,450,000	⑤	2,775,000	⑤	2,625,000	⑤	2,475,000
豊富町	②	3,619,000	③	2,961,000	③	2,796,500	③	2,632,000
猿払村	⑥	3,281,025	⑥	2,672,835	⑥	2,528,790	⑥	2,384,745
礼文町	⑦	3,220,000	⑦	2,590,000	⑦	2,450,000	⑦	2,310,000

中 頓 別 町	⑧	2,964,000	⑧	2,412,000	⑧	2,280,000	⑧	2,148,000
管 内 平 均		3,506,191		2,836,886		2,655,193		2,504,437

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

特別職、一般職員の給与 算額 28,822万円(30,188万円)

一般会計で支出する職員の給与は、議会事務局職員は議会費、教育長を含む教育委員会職員は教育費、普通建設事業として支弁される分をそれぞれ事業が組み込まれたところで計上していますが、それ以外の職員は総務費で計上しています。

職員の健康診断委託事業 決算額 208万円(279万円)

北海道市町村共済組合の制度を基本に、3つの検診機関で30歳以上のすべての職員を対象に総合健診を実施しています。

自治記念式 決算額 7万円(7万円)

大正10年4月1日に頓別村から分村し2級町村制を施行したことを記念し、毎年この日に自治記念式を開催しています。記念式では、中頓別町の自治の発展に寄与された方々を表彰して記念品を贈呈しました。

職員研修事業 決算額 105万円(150万円)

職員の能力開発を図り、町民福祉の向上、まちづくりを推進していくため職員研修に派遣しました。

・研修機関への派遣研修 旅費等 105万円

職員の給与計算システム保守委託事業 決算額 12万円(12万円)

職員の給与支給は、平成8年度に導入した計算システムを運用しています。現在は、その保守に必要な経費のみを計上しました。

宗谷町村会負担金事業 決算額 172万円(172万円)

宗谷町村会は、宗谷管内のすべて町村で組織し町村に共通する課題の解決や情報の収集と提供、職員研修の共同実施などの事業を行っています。その運営に必要な経費は、町村の規模等で決められています。

毎年、経費の節減を図り、負担金を削減してきました。

※20年度負担金 172万円

自治会連合会運営補助金 **決算額 140万円(147万円)**

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図るとともに住民の福祉増進並びに地域振興発展に寄与する事を目的として組織された中頓別町自治会連合会に対し、その運営費を補助しました。

<参考> 町補助金 平成18年度 150万円
平成19年度 144万円
平成20年度 140万円
※算出根拠一世帯あたり 1,600円 ×874世帯

町例規システム事業 **決算額 236万円(293万円)**

条例、規則等の町の例規集を作成しています。平成17年度から冊子を廃止しWeb版例規集のみとして経費の削減を図っています。

<財政管理費>

(担当：総務課総務グループ)

わかりやすい予算書の発行

町が行う仕事について、難しい行政の専門用語はなるべく使わないように説明した私のまちのしごとと予算ダイジェスト版を発行し、全戸配布しました。

まちの家計簿(わかりやすい決算書)の発行

平成19年度決算の報告をわかりやすく説明し、町の財政を理解していただく決算書町の家計簿ダイジェスト版を発行し、全戸配布しました。

<文書広報費>

(担当：総務課総務グループ)

広報誌なかとんべつの発行 **決算額 209万円(246万円)**

町が抱える様々な問題や課題、町で起こっている出来事などをお知らせしています。年11回の発行。特集などを中心に紙面の見直しを進めながら充実を図りました。

広報広聴活動

町長と町民のみなさんとが、膝を交えて、活発的な議論ができる地域懇談会「町長がおじゃまします」を実施しました。

町内の各団体等から、様々な話題、政策提言等、町民のみなさんからの要望があれば、町長が出向いて対話する「町長を出前します」を実施しました。

公共施設見学会

実施できませんでした。

街頭放送の実施 **決算額 3万円(3万円)**

町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟し、町のお知らせなどを随時放送しました。

〈企画費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

総合開発委員会開催事業 **決算額 7万円(5万円)**

第6期総合計画後期実施計画の推進管理を行うため、意見交換及び平成20年度実施事業に係る事務事業評価のあり方を議論しました。

また、第7期総合計画(次期計画)の策定に向けた勉強会を開催しました。

三輪車むかで競争大会補助金 **決算額 50万円(50万円)**

北緯 45 度夏まつりにあわせて開催している三輪車むかで競争大会の実行委員会に対して、その運営費の一部を補助しました。

花とみどりのまちづくり推進事業 **決算額 14万円(19万円)**

住民参加を基本に美しく快適で潤いのある生活環境をつくるため、花づくりに楽しむ個人や団体の自主的活動を実施しました。

- ・花樽、プランター設置事業 14施設 63基

天北線バス路線維持対策補助金 **決算額 1,987万円(1,875万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り連絡調整協議会によりさまざまな対策について検討を行い、バス路線を維持するために必要な補助を行いました。

特に、沿線自治体におけるバス利用者数が極めて低い状況から、運行バスのあり方や路線の見直しについて検討を行ってきました。

- ・天北線生活交通路線維持分 660万円
- ・天北線生活交通路線維持分(買支え) 998万円
- ・天北線単独路線維持分 329万円

天北線バス定期運賃補助金 **決算額 159万円(208万円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始される際に、通学生の通学費用の軽減を図るために定期運賃に対して補助金を交付しています。

平成15年度までは50%補助してきましたが、16年度は40%、17年度以降は30%に削減しています。

- 〈参考〉補助実績 平成17年度 40人 197万円
平成18年度 35人 175万円
平成19年度 28人 142万円

平成20年度 29人 159万円

地域新エネルギービジョン策定事業

決算額 727万円

二酸化炭素排出に伴い地球温暖化対策のため、太陽光、風力、バイオマスといった新たなエネルギー源を活用した取組みが各自治体で進められています。そのなかで、本町には雄大な自然があふれ、産業は農林業、とりわけ酪農主体の産業構造となっていることから、新しいエネルギーの導入を推進していくため、各新エネルギーの賦存量調査とその利活用を具体化し、地球温暖化防止、循環型社会の形成を積極的に取組むとともに、新たなまちづくりと産業振興の方向性（雇用の確保等）について、地域住民と連携のもとで考え、町の活性化に資することを目的に地域新エネルギービジョン策定調査を実施し、「中頓別町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

これからは、二酸化炭素排出削減を2016（平成28）年度までに1,500 t-CO₂/年と目標と定め、化石燃料の使用を抑制し、単に新エネルギーを導入するだけではなく、身近な「環境」を保全し、「エネルギー」問題に対応することで、個性ある「まちづくり」を進めていくことを目指していきます。

本事業は、独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）から補助を受けて実施しました。

策定委員会会議費	5回	16万円
先進地調査費（道内・道外各1回）		50万円
調査業務委託費		525万円
報告書作成費		94万円
事務費他		42万円

頓別川環境保全促進事業

決算額 101万円

平成21年に開拓から100年という記念すべき年を迎えることから、改めてこの町の今を見つめ直し、次の100年を「環境の町・中頓別町」としてスタートしていくため、地域と深くつながる頓別川流域の環境を、町民自らが調べて、町民自らの力で本来あるべき川の姿を取り戻す取り組みを始めていくことを目的に「頓別川・環境ミーティング2008」を開催しました。

頓別川流域を中心に自然環境調査を実施したところ、テシオコザクラといった希少植物、オジロワシやクマガラといった希少鳥類、貴重なカワシンジュガイやムカシトンボ等が生息していることが確認できました。

なお、本事業は財団法人自治総合センターから助成を受けて実施しました。

□環境ミーティング		51万円
第1回	7月20日～21日	延べ32人参加
第2回	9月5日～6日	延べ22人参加
第3回	12月6日	25人参加
□中頓別町自然環境調査委託業務		50万円

頓別川の河川整備を検討する町民懇話会開催事業

決算額 12万円

頓別川は豊かな自然を有していますが、直ぐそばには住宅や公共施設が建ち万一の自然災害対策を進めなければならないため、これまで頓別川の河川改修について河川管理者である北海道と、地先住民や町内有識者等の意見を聞いて協議を進めてきました。

そのため、豊かな自然環境保全に最大限配慮しながら、災害から町民の生命と財産を保護することができるよう、頓別川の地先住民や町内団体代表者など18人による町民懇話会などを開催しました。

これにより、①町国保病院、町下水道終末処理センター、高齢者福祉施設、公営住宅団地が所在している区間の安全対策が講じられる工法としながらも、河畔林が残るよう最大限自然環境を保全、②安全な水流量が確保できる最小限の工法による改修整備、③河川敷地内の営農に影響が生じない範囲で遊水地とする活用の検討、④河川改修事業の実施にあたっての作業工程や進捗状況等の確認など稚内土木現業所担当職員との意見交換会の実施とする内容として北海道に要望しました。

□町民懇話会

第1回 11月 4日(月)

第2回 1月23日(金)

□町民懇話会作業部会と稚内土木現業所担当者との意見交換会 3月19日(木)

□頓別川環境フォーラム

第1回: 3月2日(月)

講師: 北海道工業大学教授 岡村俊邦氏

第2回: 3月5日(木)

講師: 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授 小野有五氏

□頓別川環境を考えるワークショップ 第1回 3月17日(火)

第2回 3月24日(火)

地域づくり研修会開催事業

決算額 68万円

本事業は財団法人北海道市町村振興協会から助成を受けて実施しました。

□レディースセミナー

「食楽セミナー～地域の食材を活かしたコミュニティビジネスの可能性を創造する～」

11月11日 82名参加 23.3万円

□職員セミナー

「これからの時代の総合計画のあり方を考える～これからの基礎自治体のあり方とは～」

9月8日 56名参加 11月13日 44名参加 合計100名参加 32.2万円

□異業種交流セミナー

「頓別川の河川環境を考える研修会」

9月5日 15名参加 9月6日 10名参加 合計25名参加 12.2万円

敏音知自治連合会コミュニティ活動補助金

決算額 50万円

敏音知地域の豊かな自然環境を活かし、町内の小学生・中学生に自然を体感してもらい、その魅力に理解を得てもらい心身の発達への助長を目的に青少年健全育成事業として、「敏音知夏休み自然体験事業」が敏音知自治会の主催により開催されました。

これにより、小・中学生 41 人（移住体験事業で来町していた小学生 1 名を含む）の参加があり、酪農体験など地域の魅力、宝物の再発見ができました。

本事業は財団法人自治総合センターからの助成を受けて実施しました。

□実施日 平成 20 年 7 月 25 日（土）～27 日（月） 2 泊 3 日

〈交通安全対策費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

交通安全活動事業

決算額 24万円(27万円)

町内の交通安全活動を推進するため、資材配付と交通安全車による町内広報啓発等を実施しました。

また、北海道交通安全推進委員会と連携し安全運動のための資材提供（チラシ、夜行反射材）を受け街頭啓発、事業所訪問活動で配付しました。

新1年生交通安全家庭訪問（ラントセルカバー、黄色帽子）	5万円
交通安全車維持費	14万円
町内赤色回転灯電気料	2万円
北海道交通安全推進委員会負担金	3万円

交通指導員事業

決算額 58万円(76万円)

交通安全対策を推進するため、交通指導員を委嘱して各種活動を推進しました。

平成20年度の出動状況は次のとおりです。

月 日	出動した行事名	延べ人員
4/7～4/15	春の交通安全運動 新入学期通学児童街頭指導	31
4/7、4/14	春の交通安全運動 一斉パトライト作戦	14
4/30	小頓別小中学校青空教室街頭指導	3
5/18	中頓別消防団春季消防演習	5
5/30、6/6	初夏の交通安全運動 一斉パトライト作戦	15
6/8	鍾乳洞まつり	6
7/5	聖徳太子典	7
7/18	夏の交通安全運動 こぐまクラブ街頭啓発	3
7/22～24	夏の交通安全運動 夏期通学児童街頭指導	13
5/30、6/6	夏の交通安全運動 一斉パトライト作戦	14
7/22、7/23	中頓別神社祭典	8
8/3	北緯 45 度夏まつり	6

8/16	商工会盆踊り・灯籠流し	4
8/20	ふれあい盆踊り	5
8/20	交通事故慰霊祭	2
8/31	町民駅伝大会	4
9/22～9/30	秋の交通安全運動 通学児童街頭指導	30
9/24、9/29	秋の交通安全運動 一斉パトライト作戦	15
9/30	秋の交通安全運動 老人クラブ街頭啓発	3
10/15	秋の防火パレード	3
10/17、10/24	秋の輸送繁忙期交通安全運動 一斉パトライト作戦	15
11/17、11/21	冬の交通安全運動 一斉パトライト作戦	14
1/31	北緯 45 度しばれまつり	7
合計		227

※通学児童街頭指導は、土日・祝日の場合は出動していない。

地域生活安全補助事業

決算額 18万円(18万円)

これまで町の防犯のため町内パトロール等の活動していた防犯協会と、交通安全のため街頭啓発等の活動を行っていた交通安全協会が、さらなる地域住民の生活を守るための取り組みをするため平成20年度に統合し、地域生活安全協会として新たなスタートしました。その運営に対し、補助金を交付しました。

〈公平委員会費〉

(担当：公平委員会書記長)

公平委員会の経費

決算額 1万円(2万円)

この経費は、主に公平委員3名の報酬や委員会出席に伴う費用弁償などに充てられました。

〈防災会議費〉

(担当：総務課総務グループ)

防災対策

決算額 0.7万円(3万円)

町民の生命と財産を守り安全な地域社会を確保します。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

天北線バス関連施設維持経費

決算額 326万円(382万円)

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理にかかる経費です。

〈いきいきふるさと推進事業費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別町いきいきふるさと推進事業 **決算額 36万円(40万円)**

町内に転入された方には、中頓別で生活する上での必要な情報の提供を行います。

また、子育てに対しては祝い品の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあうまちづくりを目指し実施しました。

- ・転入支援事業（生活情報誌の配布） 0.5万円
 - ・子育て支援事業 35万円
- (出生祝金 30万円、絵本プレゼント 5万円)

〈地域間交流費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

広島県大崎上島町交流推進事業 **決算額 77万円(77万円)**

平成2年10月に本町の開拓の始祖である榎原民之助氏の出身地である広島県東野町と姉妹町の縁を結び、毎年それぞれの町民をとおしての親善、交流を深め、深い絆で結ばれることにより姉妹町の意義を高めてきています。

平成14年4月に東野町は、大崎町、木江町と合併して大崎上島町となり、新たな交流がスタートしました。今年度は、大崎上島町町民交流実行委員会を立ち上げて、その親善訪問にかかる経費の一部の補助や受入れ事業として歓迎会等にかかる経費を支出します。

- 町民交流団派遣事業 64万円
- 大崎上島町交流団受入事業 13万円

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業 **959万円(857万円)**

国による電子政府・電子自治体が急速に進み、この流れに遅れることなく本町も地域情報化、行政情報化を推進し、より高度な地域情報ネットワーク（IT）環境を構築し、合理的かつ効果的な行政事務の改善とサービスの向上を図るための経費です。

今年度は、HARPの共同設置によるLGWAN提供装置の機器更新を行い、今後も北海道が進めている北海道電子自治体共同運営協議会のアプリケーション基盤の共有などを図りながら効率的な運用に努めています。

〈一流の、中頓別づくり推進事業費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

一流の、中頓別づくり推進事業補助金 **決算額 127万円(178万円)**

第6期総合計画「一流の、中頓別づくり」を効果的に推進するため、本計画に掲げる基本理念を実現される事業で重要性、緊急性が高い事業について「一流の、中頓別づくり推進補助事業」を平成16年度からスタートしています。

補助実績	平成17年度	2件	24万円
	平成18年度	0件	0万円
	平成19年度	2件	88万円
	平成20年度	3件	127万円

実施団体	事業名	補助額
NPO中頓別森林療法研究会	シンポジウムⅡ開催事業	100千円
	欧州の森で心身の健康を考える 調査研究事業	370千円
中頓別町循環農業支援センター利用組合	完熟堆肥販売事業	800千円

〈政策推進費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別農業高校施設等利活用推進事業 **決算額 25万円(44万円)**

平成20年3月で廃校となった中頓別農業高等学校の施設等の一部については、社会福祉法人南宗谷福祉会天北厚生園の移転先としての利用を図ることとしましたが、敷地や残余の施設等について引き続き利用策を検討し、農業高校跡地を核とした地域再生策の推進のための検討と、北海道から施設の早期譲与に向けた協議等を行なってきました。

定住促進対策推進事業費 **決算額 35万円(43万円)**

いわゆる「団塊の世代」を主な対象者として、都市からの移住希望者を受け入れていくため、引き続き北海道移住促進協議会へ参画するほか、移住体験事業として「中頓別町への移住を進める実行委員会」が主体となって実施し、愛知県、大阪府、山口県などから、本町での田舎暮らしを体験されました。

□北海道移住促進協議会負担金 5万円

□中頓別町への移住を進める実行委員会補助金 30万円

・「なかとん・おためし暮らし2008」実績 12件 29人 241日間

プロジェクト北の杜推進協議会負担金 **決算額 450万円(700万円)**

北海道地域再生チャレンジ交付金事業の助成を受け、季節移住などの二地域居住を促進することで地域に新しい産業～ライフウェア産業～を創造することを目的とした、当町と美瑛町、中川町の共同による地域再生プロジェクト「プロジェクト北の杜」を推進のため、関連事業と連動させ、二地域居住のためのセカンドホームツーリズム、森林療法を核としたヘルスツーリズムについて検討し、モニターツアーなど試行的に事業を展開しました。

平成20年度の総事業費は1,350万円を計上し、構成町で負担金として按分し事業を進めました。三町の共通経費を除いた290万円分が中頓別町主体となって事業を行う予算額とし、実績は次のとおりです。

□セカンドホームツーリズム関係 46万円

・地元材で家を建てる仕組みを考える調査(兵庫県加古川市)

3月22日～24日 2名派遣 298千円

- ・地元材で家を建てる仕組みを考えるフォーラム開催

3月28日 20人参加 163千円

□ヘルスツーリズム関係 186万円

- ・NPO法人中頓別森林療法研究会 欧州の森で心身の健康を考えるツアー

10月10日～21日 1名旅費 758千円

- ・森林療法と健康食メニュー開発事業「食の文化祭フォーラム」

11月10日 18人参加 101千円

- ・森林療法と健康食メニュー開発事業「からだにやさしい薬膳料理教室」

2月19日 24人参加 154千円

- ・森林療法と健康食メニュー開発事業「からだスッキリ！料理講座」

3月19日 17人参加 116千円

- ・森林療法と健康食開発事業調査委託 一式 716千円

□冬のおためし暮らしモニターツアー事業 22万円

- ・ツアー宣伝活動費（新聞広告・チラシ作成他） 212千円

- ・ツアー参加者受入諸費（体験活動）参加件数 1件 10千円

そうや自然学校事業

決算額 242万円（382万円）

中頓別町やその周辺の自然環境を、そうや自然学校（フィールド・施設）として、生涯学習の推進、環境教育、体験型観光や森林療法などの活動を、地域住民（地域NPO、各団体等）、行政、地域産業、地域外（大学機関、自然体験活動団体等）と協働で進め、その取り組みをつなげ発展させ、地域内外の交流を図ることを目的に、4本の柱のもと活動しました。

□中頓別体験ツアー

この地に住み暮らす人々と過ごす「時の流れ」を感じる中頓別ツアーを企画実施し、都市では感じることはできない、心豊かになれる中頓別の過ごし方を「滞在型ツアー」という形で提供しました。

- ・なかとんべつ体験観光などの実施

□子ども達への体験活動

何十年もの四季折々の自然の変化を知るお年寄りや地域の人々から生活の知恵、自然の知識を子どもが学ぶ機会を作り、単なる体験や知識の伝達だけではない「自然と人の生活」が繋がった自然体験型・生活体験型環境学習を提供しました。

- ・町内小中学校総合的な学習の時間の受入
- ・自然体験学習会の実施（夏・冬）
- ・町外活動の受入 など

□森の癒しと森林療法 ～森と暮らす、森で過ごす健康づくり～

森が人に与える医学的効用に注目した研究と実践を進めるNPO法人中頓別森林療法研究会と連携した健康改善のために中長期滞在するプログラム開発及びツアーを開催しました。

- ・健康づくり森林ウォーキングの実施
- ・森の癒し 健康づくり森林療法モニターツアーの実施 など

□人が共に育つ場づくり

「自然と人の関わり」を学ぶためのわかりやすい地域素材を活かし、「人と自然」をつなぐ体験活動や人材育成、養成セミナーなどを開催し、「人と人」、この地で学んだことを通じて、「人と社会」がつながる機会を提供しました。

- ・自然学校指導者養成の実施（年6回）
- ・町内及び町外研修の受入 など

参加者数 1, 715名（延べ）

□費用内訳

- ・自然体験インストラクター業務委託 81万円
- ・自然学校施設維持管理費 83万円
- ・体験活動用備品購入（スノーシュー、トランシーバー、双眼鏡、魚捕り網、箱めがね他） 53万円
- ・自然体験事業実施に係る講習・研修会参加費用 25万円

中頓別地元学推進事業

決算額 358万円

平成21年の開拓100年・町制施行60周年を記念し、100年の歴史の中で培ってきた中頓別の地域文化を再発見し、これからの地域づくりやくらしづくりといった地域力に向けた取り組みにつなげていくため、地元学の手法を用いて取材・調査を行い、それらを地域力として高め、これからの地域振興に活かすため、調査したことを情報誌（単行本）にまとめました。平成21年度までの継続事業。刊行は平成21年度。

この事業は、北海道地域政策総合補助金事業の補助（総事業費の2分の1）を受け実施しました。

□地元学ワークショップ開催 43万円

- ・12月10日 10人参加
- ・1月24日 13人参加
- ・1月25日 9人参加
- ・2月11日 16人参加
- ・2月14日 9人参加
- ・2月15日 14人参加

□情報誌取材調査（委託事業） 315万円

環境基本条例検討懇話会開催事業

決算額 3万円(5万円)

平成20年2月20日町長より諮問を受け、12月8日答申しました。

今後は、環境基本条例に基づき環境基本計画、行動計画策定により、その実効性が求められます。

□検討懇話会 平成20年度 3回開催

〈防犯対策費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

子ども安全対策車購入事業

決算額 204万円

平成20年8月29日「安心実現のための緊急総合対策」が閣議決定されたことに対応し

て、原油等原材料価格の高騰対策、高齢者医療対策、防災対策、教育・子育て支援対策等に積極的に総合的に取り組み、もって地域活性化に資することができるよう交付金制度が創設されました。

地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金事業（総額 1,457 万円 全 7 事業）の内の事業です。

子育て・教育支援対策として、犯罪から子どもを守る防犯対策および安全・安心な地域づくり整備のため、安全対策パトロール車を購入しました。

□子ども安全対策車（青色散光式警光灯付き）1 台

〈税務総務費〉

（担当：総務課住民グループ）

課税電算業務委託料 **決算額 256 万円（245 万円）**

住民税、固定資産税の課税計算、納税通知書作成事務等を民間委託しました。

〈戸籍住民登録費〉

（担当：総務課住民グループ）

住民情報システム委託料 **決算額 4.4 万円（3.7 万円）**

住民情報システムとは、市町村における住民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うシステムの保守管理業務を委託しました。

〈統計調査費〉

（担当：総務課総務グループ）

各種統計調査の実施 **決算額 18.3 万円（25.5 万円）**

- ・ 学校基本調査 **0.8 万円**
文部科学省が毎年行う学校の生徒数などの実態を把握する調査を実施しました。
- ・ 工業統計調査 **3.7 万円**
経済産業省が毎年行う工業（製造業）の実態を把握する調査を実施しました。
- ・ 住宅・土地統計調査 **10.0 万円**
全国の事業所や企業を対象に産業や従業者規模などを把握するための調査です。総務省が行う住宅・土地の保有状況の実態を把握する調査を実施しました。
- ・ 平成 21 年経済センサス調査区設定 **2.3 万円**
- ・ 平成 21 年経済センサス準備等 **1.5 万円**
全産業分野のすべての事業所、企業を対象に経済活動の実態を把握する調査を実施しました。

〈監査委員会費〉

(担当：監査委員書記)

監査委員の経費 **決算額 84万円(84万円)**

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償などに充てられました。

〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

選挙管理委員会の経費 **決算額 53万円(57万円)**

この経費は、主に選挙管理委員(4人)の報酬、費用弁償、選挙啓発の経費などに充てました。

〈農業委員会選挙費〉

(担当：総務課総務グループ)

農業委員会選挙の経費 **決算額 9万円(50万円)**

この経費は、7月執行の「農業委員会選挙」における、投票立会人や選挙長への報酬等の経費に充てました。

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

戦没者慰霊祭開催事業 **決算額 7万円(9万円)**

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにすため、5月28日に開催、遺族26名、来賓等19名の参列者で行なわれました。

平成17年度からは、食事会を取りやめ、遺族会総会の席に弁当とお茶を出すことにより経費の節減を図っております。

社会福祉協議会運営補助事業 **決算額 652万円(652万円)**

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。中頓別町遺族会に対する助成も含めて補助しております。

民生委員協議会運営補助事業 **決算額 20万円(20万円)**

民生委員協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的として活動しており、民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助し、平成19年12月改選により民生委員児童委員12名、主任児童委員2名を委嘱しております。

この補助金は、民生委員協議会活動推進費負担金として全額、道から補助されています。

福祉灯油助成事業 **決算額 54万円**

収入金額が120万円以下の世帯で、65歳以上の高齢者世帯及び、障害者世帯、ひとり親世帯に対し、原油高騰により暖房用燃料費の一部を54世帯に助成しました。

高額療養費一部負担金貸付事業 **決算額 0万円(200万円)**

中頓別町国民健康保険の被保険者が高額な療養費を医療機関に支払う際に一時的にその一部負担金を貸付します。

本年度は貸付希望者がいなかったことから、決算額は0円となっております。

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

敬老会開催事業 **決算額 54万円(69万円)**

75歳以上の高齢者を対象に9月11日に町民センターで該当者156名、来賓18名の出席により経費の節減を図りながら敬老会を開催しました。

喜寿を迎える方25名には、記念写真の贈呈を行ないましたが、7名の辞退者があり、実贈呈者は18名となっております。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業 **決算額 6万円(7万円)**

町内に居住する65歳以上のお年寄りや身体障害者及び知的障害者の福祉活動の一環として、軽スポーツ活動を通し、健康増進と融和・親睦を深めるため、8月1日に106名の参加により開催しました。

平成17年度から参加賞の廃止、昼食費用の抑制を図っております。

敏音知温泉コミュニティセンター入浴券交付事業 **決算額 92万円(98万円)**

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや心身障害者(1・2級)、知的障害者の憩いの場の提供と心身の健康増進のために、入浴券を交付しており、平成20年度では延4,211人が利用しておりますが、平成19年度との比較では、延63人減少となっております。

平成20年度は入浴料330円のうち、110円と入湯税50円が自己負担となっており、220円を町が補助しております。

高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業 **決算額 93万円(93万円)**

町内の75歳以上のお年寄りに町内のバス路線区間に限り無料乗車券を交付しました。

この事業は、宗谷バスに1ヵ月77千円で委託して実施されています。

給食サービス事業 **決算額 65万円(65万円)**

町内に住んでいるお年寄りや、一人暮らしの方を対象に、週3回の夕食を配食しています。

偏食防止や安否確認、健康状態の把握にも役立っており、この事業は社会福祉協議会に委託して実施しております。

平成 20 年度は 2 名の方が利用しております。

除雪サービス事業 **決算額 145万円(145万円)**

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や、冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前など住宅周辺の除雪を行います。

この事業は、社会福祉協議会に委託しており、平成 20 年度は 30 件がサービス対象となり、玄関・ベランダ・屋根の除雪のサービスを行いました。

訪問サービス事業 **決算額 20万円(20万円)**

一人暮らしのお年寄りの世帯に訪問員が訪問し、安否確認や生活上の悩み、福祉ニーズの把握等を行っており、社会福祉協議会に委託して実施されています。

平成 20 年度では、9 件の訪問対象者を 4 名の訪問員でサービスを行っており、延訪問回数は 537 回となっており、この事業は、平成 20 年度で廃止とし、各自治会での取り組み事業といたしました。

生きがい活動支援通所事業 **決算額 0万円(12万円)**

デイサービスセンター長寿園において、生きがい活動援助員を配置し、利用対象者のニーズ及び身体状況に応じ、きめ細かなサービスをできる体制を取っておりますが、平成 20 年度では利用者がおりませんでした。

老人クラブ連合会運営補助事業 **決算額 32万円(32万円)**

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しました。

老人クラブ連合会運営補助金の負担については、道が 3 分の 2、町が 3 分の 1 の負担となっております。

在宅老人デイサービスセンター・訪問介護サービスセンター運営事業

決算額 1,670万円(1,670万円)

デイサービスは、高齢者が心身機能の維持・向上を図るとともに、日常生活上の世話や機能訓練を行うことにより高齢者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持、家庭の身体的、精神的負担の軽減を目的とするもので、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などの支援を日帰りで行われるものです。また、訪問介護は、高齢者が可能な限りその居宅において、日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが訪問し、排泄、入浴、食事などの身体介護や、調理、掃除、生活全般にわたる援助を行うもので、社会福祉法人南宗谷福祉会に委託しています。

平成 20 年度利用者 在宅老人デイサービスセンター 延 2,234 回
訪問介護サービスセンター 延 4,413 回

建設資金償還金補助事業 **決算額 753万円(753万円)**

社会福祉法人南宗谷福祉会が平成9年度にデイサービスセンター・在宅介護支援センターを建設した際に借入れた長期借入金の償還金に対する補助をしました。

この事業は、社会福祉事業法及び中頓別町社会福祉法人の助成に関する条例に基づくものです。平成29年度までの償還で、平成20年度は元金6,170千円、利息1,358千円の償還となっております。

老人ホーム入所事業 **決算額 8,386万円(8,938万円)**

町内外の養護老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

平成21年3月31日現在の養護老人ホーム長寿園の入所者は55名でその内39名が中頓別町での措置者となっております。

特別養護老人ホームの入所者は57名で中頓別町の介護保険で措置されている入所者は35名となっております。

高齢者事業団運営補助事業 **決算額 60万円(60万円)**

高齢者の能力や経験を生かし、希望する仕事を通じて生きがいの充実や社会参加が図られるよう高齢者事業団が組織され、高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団訪問開拓員活動事業に対し助成をしました。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障害者施設訓練等支援事業 **決算額 5,593万円(6,399万円)**

障害者施設に入所している方の入所費用及び障害福祉サービス費・障害介護特別対策費等を支出しています。

4月1日現在の入所者数は、

知的障害者施設入所者数	町内施設 9名、	町外施設(4施設)	6名
一体型共同生活事業所	町内施設 2名	町外施設(1施設)	1名
身体障害者施設入所者数		町外施設(2施設)	2名
短期入所利用者数		町外施設	1名
児童デイサービス利用者数		町外施設	2名

日中一時支援事業 **決算額 1万円(3万円)**

障害者自立支援法に基づき、在宅の障害者(児)の家族への支援を目的として町が委託した指定事業所で障害者(児)が過ごす事が出来るよう支援しております。

平成20年度では、1名で4日間利用しております。

身体障害者補装具給付事業 **決算額 26万円(76万円)**

身体に障害がある方の日常生活の向上のために、失われた身体機能を補う用具の交付や修理に対して給付します。

平成20年度では、補聴器2件、盲人用安全杖1件、杖ゴムチップ1件、車椅子1件、車椅子修理1件を給付しております。

自立支援医療(更正医療)給付事業 **決算額 41万円(104万円)**

体に障害がある方の障害を取り除いたり軽減したりすることで、日常生活が容易になるよう行われる医学的処置、薬剤、治療、材料などの給付を行う医療費の一部を助成しました。

人工透析を受けている方などに給付されます。

〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

重度心身障害者日常生活用具給付事業 **決算額 90万円(175万円)**

在宅の重度身体障害者に対して、浴槽や特殊寝台など日常生活用具の給付や貸し出しをします。

平成20年度では、ストマ用装具10件、装具1件、ネプライザ1件、入浴補助用具1件、移動移乗支援用具1件を給付しております。

重度心身障害者医療給付事業 **決算額 925万円(936万円)**

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫の機能障害である1級から3級の障害に該当している方などの医療費の一部を助成しました。

平成20年3月末現在身体障害者認定者数 1級24人、2級28人、3級26人となっています。

〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

福祉電話設置事業 **決算額 2万円(1万円)**

一人暮らしのお年寄り(65歳以上)及び重度障害者(1～2級)の方で、電話を設置していない世帯に対し、電話機の設置や基本料金の助成をしています。なお、事業は廃止となっており、既得権で1名に助成しています。

福祉ハイヤー助成事業 **決算額 194万円(260万円)**

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者(一部制限があります)の通院などが容易になるように、タクシーチケット(1枚500円)を支給しています。交付枚数は、重度肢体不自由者等には年間48枚、高齢者には年間24枚で、公共交通機関のない地区に居住している方には48枚交付しています。

自家用車を所有している方の配偶者（70歳以上）にも年間12枚交付しています。
年度途中での交付該当者は、年間交付枚数を月割で交付しています。
平成20年度では、5,338枚発行し、3,910枚（73.2%）利用されています。

緊急通報システム事業 **決算額 124万円(143万円)**

在宅の一人暮らしのお年寄りや身体障害者の日常生活の安全確保と精神的な不安を解消するため、急病・事故等の緊急事態において迅速な救援活動ができるように家庭用緊急通報機器を貸与しました。

平成20年度末緊急通報システム委託台数 安全センター 25戸
健康づくり財団 10戸

〈児童措置費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

児童手当支給事業 **決算額 1,019万円(990万円)**

小学校修了前までの児童を養育する方に、手当を支給しています。

平成19年度より3歳未満の児童手当が一律1万円になりました。

平成20年度 児童手当給付人数 被用者 198人 非被用者 67人
特例給付人数 8人
小学校修了前特例給付人数 被用者 1,053人 非被用者 248人

〈ひとり親家庭等医療給付費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

ひとり親家庭等医療給付事業 **決算額 29万円(108万円)**

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成しました。

〈次世代育成支援対策費〉

（担当：認定こども園）

保育所地域活動事業 **決算額 51万円(51万円)**

中頓別町認定こども園では未来を担う子ども達の為に、地域に開かれた認定こども園として、積極的に老人福祉施設等世代間交流事業を取り入れ、施設との交流を深めながら老人を敬ったり尊んだりする豊かな人間性を目指し、年7回老人福祉施設との交流を進めてきました。

また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守ったり、中頓別町認定こども園園児が普段接することの少ない小学生・中学生・町内在住の高校生との交流を持つことによって、社会性・協調性を養うために、認定こども園が地域の子どもの交流の場となり、年10回以上の異年齢交流事業を行いました。

報償費 15万円
需用費 36万円

事業名	交流区分	内容	参加人数
保育所地域活動事業 (世代間交流) (異年齢児交流)	世	花壇作り	28名
	世/異	運動会	190名
	世/異	クリスマス会	150名
	世	遊戯発表会慰問	感染症予防の為中止
	世	茶話会慰問	感染症予防の為中止
	異	畑作り	41名
	世/異	しめなわ作り	42名
	異	クリスマスカード作り	61名
	世/異	ふれあい盆祭り大会	203名
	異	家族・親子体操	42名
	異	夏休み体験学習会	6名
	異	観劇会	77名
	異	放課後交流	88名

〈乳幼児医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

乳幼児医療給付事業

決算額 120万円(200万円)

乳幼児医療費の一部をその保護者に助成することにより、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を172人に助成しました。

1. 対象者 入院、通院とも就学前まで
(6歳に達する日以後の最初の3月31日までの方)
2. 自己負担 1割負担
月額上限 入院 44,400円
通院 12,000円
3歳未満児及び市町村民税非課税世帯は初診時一部負担金のみ。

〈こどもセンター費〉

(担当：こどもセンター)

放課後こどもプラン推進事業

決算額 14万円(10万円)

労働等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象とし、適切な遊びや生活の場を与えて指導し、児童の健全育成を図ることを目的とし進めてきました。

- 誕生会
- クリスマス会
- 遠足

父母会活動

〈地域子育てセンター費〉

(担当：こどもセンター)

地域子育て支援事業

決算額 29.6万円(37万円)

子育て中の家庭への支援を目的とし、遊びの提供や各種講演、講座、広報誌等を通し、子育ての情報提供や相談事業を進めてきました。

講演会(年1回)

講座(年3回)

遊びの広場(月3～7回)

子育てサロン(月1回)

文庫開放(随時)

子育て情報の提供(随時)

子育て相談事業(随時)

衛生費

〈予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

精神保健事業

決算額 1万円(1万円)

南宗谷3町と連携を図り、回復者クラブなどを行い在宅での生活の援助を行いました。

感染症の予防事業

決算額 7万円(16万円)

結核予防法の改正により、結核検診の対象者が65歳以上になり、検診の場所や日程を短縮したため受診者が減少しました。

乳幼児のBCG接種は対象者全員の接種を終了しました。

エキノコックス症検診は、小学校6年生・中学校3年生・高校3年生を対象に各学校で行ない、また、一般住民対象では巡回ドックと併せて行いました。

事業名	実施日	受診者数
結核検診	5月18日・9月10日	9人
BCG	5月15日・8月14日・11月6日・2月26日	10人
エキノコックス症検診	4月15、16日・8月25、26日・10月30日	90人

特定疾患交通費等事業

決算額 3万円(5万円)

特定疾患で通院されている方5件に対しての交通費の助成(非課税世帯のみ対象)を行いました。

また、在宅での生活を支えるために、南宗谷の関係者・保健所などで南宗谷難病医療システム立ち上げ専門医による医療体制(神経内科外来・リウマチ外来)が整い、受診者数

も増加してきています。

〈老人保健費〉〈健康づくり事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

成人保健事業

決算額 505万円(644万円)

健診事業

決算額 298万円(451万円)

平成20年度から特定健診・特定保健指導を実施しました。各健診の結果から、住民が生活習慣病の予防や改善のための取り組みが出来るように集団又は個別(健康相談・家庭訪問)の支援を行いました。

今後も健診がより効果的に行えるように、健診体制を充実していきます。

事業名	実施日	実施回数	受診者数
胃がん検診	4月15、16日	5回(6日間)	198人
肺がん検診	5月18日・9月10・30日	5回(6日間)	209人
大腸がん検診	2月17日	5回(6日間)	204人
子宮がん検診	2月22日	1回(1日間)	72人
乳がん検診	8月5日・2月25日	2回(2日間)	105人
マンモグラフィー	8月5日・2月25日	2回(2日間)	再 105人
前立腺がん検診	4月15、16日・5月18日・9月10日	3回(4日間)	24人
喉頭がん検診	7月28日	1回(1日間)	23人
骨粗鬆症検診	4月14、16日	1回(2日間)	69人
脳ドック	7月3、5日	1回(3日間)	91人
肝炎検査	各健診の同日実施	5回(6日間)	15人

健康教育・健康相談

決算額 155万円(132万円)

各地区などの健康相談や健康教育を実施し、より健康な生活が継続できるように支援を行いました。また、継続している事業は定着し、内容も充実し参加者も増加してきています。保健センターの利用者数だけでも年間6,000人を超えています。

健康づくり事業団の援助を受けて、すこやかロード認定事業(2年間)、生活習慣病予防チャレンジ講座(1年間)を実施、多くの参加者がありました。

「健康なかとんべつ21」の実践の場を大事にして、ひとりひとりの「わたしが出来ること」「みんなで出来ること」を応援しています。

18年度から介護予防事業(地域支援事業)と併せて健康教育を行っています。

事業名	実施日	実施回数	参加者
リハビリ教室	毎週2回(火・金)	88回	延べ 1,175人
いきいき健康教室	冬期間各地区巡回	12回	延べ 81人
はつらつ広場	月1回	11回	延べ 60人

誰でもできる簡単エアロビクス	毎週2回(火・金)	88回	延べ	780人
アクアビクス	7月～8月(月・木)	11回	延べ	41人
さくらんぼの会	ほぼ2か月に1回	5回	延べ	17人
食生活クラブ		10回	延べ	110人
第34回健康づくり講座	2月13日	1回		279人
寝たきり知らずの健康講座	3月8日、3月17日	2回	延べ	40人
たいそう元気会	毎週1回(水)	8回	延べ	863人
すこやかロード普及事業 (森林ウォーキング・講演会)		7回	延べ(再)	225人 18人
森林浴事業	5月～10月	6回	延べ	221人
生活習慣病予防チャレンジ講座	7月～10月	3回	延べ	81人
その他の健康教育	随時	42回	延べ	669人
健康相談	各地区・職場等	456回	延べ	1,215人
健康カレンダーの配布	4月全戸配布			
献血推進事業	7月4日・11月5日 3月11日	3回	延べ	148人

歯科保健事業

決算額 52万円(61万円)

80歳で20本、自分の歯を持つことで、さらに豊かな生活ができると言われていました。

8020さわやか健診を継続してきたなかで、60歳代の虫歯の減少や一人あたりの平均現在歯数が顕著に増加してきていることがわかりました。

幼児・学童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防・歯周病予防ができるように支援しました。子供たちの歯は永久歯の虫歯の本数、虫歯になった人の割合も大きく減少してきています。

歯科保健推進会議では、関係者で学習会を行うなど、関係機関との連携がとれています。

事業名	実施回数	受診者数
8020さわやか健診	7回	97人
ブラッシング指導	5回	264人

〈母子衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

母子保健事業

決算額 157万円(188万円)

子どもを安心して生み、育てる事ができるように支援し、乳幼児の健やかな成長と安心して子育てができるように援助しました。

健診等

決算額 96万円(119万円)

乳児健診・1、6歳児健診・3歳児健診などではほぼ全員が受診し育児に対する援助ができました。必要時、精密検査票を発行し医療機関の受診等を勧奨しました。

歯科検診・フッ素塗布では、学童も受診できる体制となっています。受診する児童も徐々に増えてきています。

事業名	実施回数	受診者数
妊婦健康診査助成	随時	9人
乳児健診	4回	延べ 39人
1歳6ヶ月健診	4回	7人
3歳児健診	4回	12人
歯科検診・フッ素塗布	3回	延べ 96人

健康教育・健康相談

決算額 3万円(5万円)

幼い子どもを持つ母親の自主活動も活発に活動しています。また、子どもを通して母親同士のつながりもできてきています。

出生数の減少に伴い参加者も減少傾向になってきています。

事業名	実施回数	参加者数
乳児相談	8回	延べ 22人
にこにこクッキング	3回	1人
離乳食教室	4回	10人
ひよっこクラブ	22回	延べ 158人
巡回児童相談	3回	延べ 5人

予防接種

決算額 58万円(64万円)

予防接種法に基づきそれぞれの予防接種を個別に案内して受診を勧奨しました。

対象者については、ほぼ終了しています。予防接種の会場は町国保病院で行っています。

インフルエンザ予防接種は、国保病院に委託して実施しました。

平成18年度から予防接種法の改正により、麻しん風しん混合予防接種が1期(1歳児)、2期(就学時)3期(中学1年生)4期(高校3年生)と4回接種になり、対象者に接種を行ないました。

事業名	実施日	接種者数	
ポリオ	4月17日・10月9日	延べ 18人	
BCG	5月15日・8月14日・11月6日・2月26日	10人	
3種混合	6月12日・7月10日・8月7日・12月18日・1月15日・2月12日	延べ 38人	
2種混合	5月8日	21人	
麻しん 風しん	1期	9月18日	32人
	2期	10月22日	22人
	3期	4月22日	18人
	4期	5月23日、8月7・14日、10月6日	15人

インフルエンザ65才以上	11月～12月	407人
--------------	---------	------

〈環境衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ごみ処理事業 決算額 9,997万円(9,582万円)

一般廃棄物は、平成7年に容器包装リサイクル法が制定され、リサイクルによるごみ発生の抑制と、資源の再使用を推進しごみの減量化を図る、循環型社会への転換を目指して取り組みを進めています。

町内のごみ収集と埋立処分場の管理は、(有)中頓別振興公社に全面的に委託しております。

ごみ収集は、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「リサイクルごみ」「粗大ごみ」の4種類に分別収集し、燃やせるごみは南宗谷衛生施設組合へ搬入し焼却処理、燃やせないごみ及び粗大ゴミは、埋立処理施設において破碎処理し埋立をしています。

リサイクルごみは、埋立処理施設に併設しているストックヤードにて分別保管し、資源として再利用されております。

また、平成14年からは、南宗谷衛生施設組合による汚泥再生処理センターが新設され、生ごみ分別収集の開始と、燃やせるごみ、し尿、下水道汚泥、浄化槽汚泥を併せて処理をし、堆肥として再資源化をしています。

平成16年4月から、家電リサイクル品は廃パソコンを加え6品目となり、家電メーカーの処理工場に運ばれ再資源化されています。

- ・ 南宗谷衛生施設組合負担金 6,532万円
- ・ ごみ処理事業(収集・埋立処分場管理等)委託料 3,085万円

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

歯科診療所施設整備事業 決算額 416万円(360万円)

歯科診療所の施設整備を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように援助しました。

施設整備が老朽化しているため、外壁張り替え工事等を行いました。

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

地区組織活動 決算額 15万円(16万円)

各地区から選ばれた保健推進員とともに健康づくりに取り組みました。

健康づくり講座・各地区健康相談などの活動も定着してきています。

保健推進員研修会に参加して、研修を行いました。

推進員だより「すこやかさん」は第5号まで発行しました。

事業名	実施回数	参加者数
保健推進員研修・会議等	3回	延べ 34人

農林水産業費

〈農業委員会費〉〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業後継者パートナー対策事業

決算額 10万円(20万円)

将来の中頓別町の農業を担う青年女性が主体的に実施するパートナー対策事業に対して、その経費の一部の補助を行いました。

農地基本台帳の整備

決算額 8万円(8万円)

農業者の家族構成や農地等の利用調整、農業委員選挙人名簿の審査など農業委員会業務全般の基本となる台帳を整備しました。

農業者年金業務

決算額 48万円(38万円)

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を行いました。

〈農業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

認定農業者への支援

決算額 95万円(95万円)

本町農業の中核的な担い手として、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、各種の支援を行いました。

・農業経営基盤強化資金利子助成事業

15戸～95万円

中山間地域等直接支払制度交付金交付事業

決算額 3,119万円(3,118万円)

中山間地域等では、高齢化が進行する中で平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能が低下し、国民全体にとって大きな経済的損失が生じることが懸念されています。

このような状況を踏まえ、食料・農業・農村基本法において「国は、中山間地域等においては、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正するための支援を行うこと等により、多面的機能の確保を特に図るための施策を講ずる」こととされ、農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、国費・道費・町費により交付金を交付しました。

農業用施設維持補修事業 **決算額 14万円(18万円)**

農業用施設の維持補修により機能回復を図り、農業の経営の維持と安定を図るため、次の事業を実施しました。

- ・事業費 14万円
- ・事業内容 農業用施設の維持補修。
- ・施工場所 南天北国営草地（神崎牧場）

**中頓別町農業体験交流施設（食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」）
管理運営費** **決算額 645万円(645万円)**

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費は次のとおりです。

○中頓別町農業体験交流施設の管理の代行のための指定管理料 645万円

- ・管理施設 農産物加工研究施設（食彩工房「もうもう」）
農業体験施設（体験農園「オガル」）
- ・業務の範囲 施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定管理者 中頓別町食菜加工研究会
- ・指定期間 平成19年4月1日～平成21年3月31日 2年間

農業者燃料高騰対策補助事業 **決算額 200万円**

平成20年度において原油の高騰により、農業資材等が値上がりし、酪農経営に大きな負担となっていることから、燃料等の高騰に対する負担軽減を図るための対策として助成を行いました。

〈畜産業費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業 **決算額 28万円(28万円)**

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が、必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

- ・大家畜経営体質強化資金利子補給事業 19万円
- ・大家畜経営活性化資金利子補給事業 6万円
- ・大家畜経営改善支援資金利子補給事業 3万円

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業 **決算額 200万円(285万円)**

酪農家の家族の休養・研修・旅行等に完全な休日を取り、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

中頓別町営牧場運営事業 **決算額 477万円(748万円)**

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

町営（神崎）牧場運営業務委託事業

今年度は入牧頭数の減少に伴い弥生牧場は、休止としました。

- ・利用期間 5月28日から10月23日（148日）
- ・利用頭数 163頭
- ・受胎成績 83.9%

乳牛共進会関連事業 **決算額 12万円（12万円）**

町内で飼養されている乳用牛（ホルスタイン）の精鋭を一堂に会し、道北ホルスタイン共進会の予選会を行うとともに、農業者相互の親睦を図り、消費者との交流を深め、本町の基幹産業である酪農業への理解を深めることを目的に開催される、中頓別町乳牛共進会の開催経費の一部を負担しました。

中頓別町乳牛共進会で選抜された乳用牛が、中頓別町の代表として道北ホルスタイン共進会へ出品され、審査の結果上位入賞を果たしたことから、宗谷管内の代表として北海道ホルスタインナショナルショーへ出品されることとなり、道北ホルスタイン共進会・北海道ホルスタインナショナルショーへ出場するための経費の一部を負担しました。

- ・中頓別町乳牛共進会開催負担金 5万円
開催日 8月 8日 6戸 23頭出陣
- ・道北ホルスタイン共進会出場負担金 5万円
開催日 8月31日 5戸 8頭出陣
- ・北海道ホルスタインナショナルショー出場負担金 2万円
開催日 9月27日 1戸 1頭出陣

地域交流事業（酪農祭開催事業） **決算額 18万円（18万円）**

基幹産業である酪農を通し、地域住民と交流を図り、畜産・酪農に対する理解を求め、地域農業の発展を全町民が共同の力で築くための事業であり、これに対し開催経費の一部を負担しました。

中頓別町乳牛検定組合運営事業 **決算額 45万円(45万円)**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助しました。

畜産担い手育成総合整備事業 **決算額 1,726万円（1,783万円）**

酪農・畜産業の経営の安定化を図るため、良質な粗飼料の確保と生産性の向上、生産コストの低減を目的とした草地の造成や整備改良及び施設等整備を行いました。

事業期間	平成20年度～平成23年度					
総事業費	3億1,000万円					
補助率	国50%、参加者50%（一部道補助金の対象）					
区分	工種	総事業量	総事業費 (万円)	H20事業量	H20事業費 (万円)	備考
基本施設	草地造成	4.7ha	336.1	0.50ha	39.1	
	草地整備改良	267.6ha	13,288.6	57.98ha	3,365.9	
	用排水整備	9.6ha	1,080.6			
畜産総合施設	家畜保護施設	2棟	15,727.2			
	飼料調整貯蔵施設	1基	567.5			
合計			31,000.0		3,405	

〈有害鳥獣駆除対策費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

有害鳥獣対策事業

決算額 65万円(66万円)

近年、エゾシカ頭数の増加やヒグマの出没が人里近くまで寄っていることから、農業被害、生活環境への被害が懸念されています。また、キツネやカラスによる衛生面から生活空間への被害に加えて、アライグマ等の外来生物も近隣町村では確認されており、在来種の生態系破壊や感染症による人畜被害が懸念されます。

このような被害防止のための捕獲業務・運搬料および処理費です。

- 有害鳥獣捕獲業務委託料 33万円
- ヒグマ捕獲 7万円
- エゾシカ捕獲（個体調整） 20万円
- エゾシカ捕獲（運搬処理） 5万円

〈林業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

森林保護事業

決算額 19万円(18万円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間、野ねずみ駆除剤（リンカS1）をヘリコプターにより空中散布しました。それに先立ち野ねずみの生態調査（6月、8月、10月）を実施しました。

○鳥獣害防止施設等整備事業

- ・事業費 19万円（補助金 13万円）

町有林造林事業

決算額 1,714万円(約1,746万円)

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図ることを目的とし、町有林の育成のために各種事業（下刈、除・間伐）を実施しました。

- 人工造林（10.55ha）未立木地・伐採跡地の解消を図るため造林を行いました。
- 下刈（76.05ha） 植栽後9年間人工林の健全な成長の促進を目的として、雑草木（笹・草等）の除去を行いました。
- 除間伐（12.80ha） 人工林の健全な成長の促進を目的として、適時に支障木・不良木除去及びつる切りを行いました。
- 特定間伐（10.48ha）人工林の健全な成長の促進を目的に間伐を行い、材の搬出を行いました。

○森林環境保全整備事業

・事業費 1,431万円（補助金 1,002万円）

・事業内容

兵安地区（除間伐）	12.80ha
藤井・豊泉地区（下刈）	37.74ha
寿地区（下刈）	6.00ha
弥生地区（下刈）	10.87ha
岩手地区（下刈）	21.44ha
神崎地区（造林）	3.60ha
岩手地区（造林）	3.65ha
中頓別地区（特定間伐）	10.48ha

○絆の森整備事業

・事業費 284万円（補助金 212万円）

・事業内容

鍾乳洞地区（造林）	3.30ha
-----------	--------

民有林公費造林事業

決算額 54万円(約102万円)

森林資源の充実、森林の有する公益的機能の回復及び向上を目的に森林所有者が実施した造林事業（下刈）に対し、造林事業補助事業の査定経費の5%分を町が単独補助するもので、下刈実施者21件147.03haに補助しました。

21世紀北の森づくり推進事業

決算額 351万円(約575万円)

森林機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的に、森林所有者が実施した造林事業に対し補助するもので、造林実施者8件21.25haに補助しました。

・事業費 351万円（補助金 216万円）

森林整備地域活動支援交付金 **決算額 674万円(700万円)**

近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、適時適切な森林施業の実施に不可欠な森林の現況の把握、歩道の整備等の活動が十分に行われなくなっています。この結果、間伐等の森林施業が十分に行われない人工林が発生するなど、このままでは国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等の森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたすおそれがあります。

このような状況を踏まえ、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な森林現況の調査その他の地域における活動（地域活動）に対して、国費、道費、町費により交付金を交付しました。

・事業費 674万円（補助金 505万円）

地域森林管理市町村推進事業 **決算額 25万円(25万円)**

森林の適切な整備を通じた森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、森林整備のための地域における取組みを推進するための措置として、森林所有者に森林整備地域活動支援交付金を交付するための制度普及や交付審査等に対して使用しました。

・事業費 25万円（補助金 12万円）

森林作業員長期就労促進事業（負担金） **決算額 15万円(20万円)**

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が120日以上ある森林作業員に奨励金を支給するもので、5名分負担しました。

作業路維持補修費 **決算額 11万円(18万円)**

中頓別町で管理している作業路の維持補修を行いました。

〈林道費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

1. 森林管理道開設事業

森林管理道の開設により、森林所有者等による計画的な森林整備や作業の機械化を図り、木材等森林資源の循環的な利用及び林業経営の安定化を促進します。また、森林の有する多面的な機能である水土保持機能の強化や緑豊かな森林空間の利用の促進を目指します。

(1) 森林管理道開設事業 **決算額 3,827万円(約3,850万円)**

○森林管理道弥生線開設事業

(事業期間 平成18年度～平成27年度)

・事業費 約3,827万円(国補助金1,913万円、道補助金38万円)

・事業内容 開設工事 L=92m W=4.0m

- ・施工場所 旭台～中頓別鍾乳洞北側の町有林内。

～事業内容詳細～

本事業は鍾乳洞自然ふれあい公園整備構想に基づく旭台・弥生地区の町有林整備のための森林管理道開設事業です。今年度は、昨年の終点より尻無川を横断した所まで開設しました。

(2) 道代行森林管理道開設事業

決算額 6,776万円(約6,994万円)

○森林管理道菊水線敏音知工区開設事業(平成19年度0国債)

(事業期間 平成2年度～平成23年度予定)

- ・事業費 6,776万円(国負担分3,388万円、道負担分3,388万円)
- ・事業内容 開設工事 L=406m W=5.0m
- ・施工場所 敏音知～王子製紙株式会社所有の山林の奥。

2. 林道維持補修事業

決算額 48万円(63万円)

中頓別町で管理している林道施設の維持補修を行いました。

○林道維持補修工事

- ・工事費 48万円

商工費

〈商工総務費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別町商工会事業補助

決算額 570万円(570万円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定をはかることを目的に、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して、経営改善普及事業と地域振興事業等の経費の一部を助成しました。

- ・経営改善普及事業職員設置費等 570万円

中頓別町中小企業振興資金融資事業

決算額 9万円(9万円)

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け中小企業者に対し、有利な融資を行っています。融資額は一企業に運転資金、設備資金に対し700万円以内、木材工業関係は、3,000万円以内で、7件、2,920万円の融資を行いました。設備資金の特例として金融機関からの貸付利率に4分の3を乗じて得た利率で計算した額、2件、9万円を利子補給しました。

〈観光費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別町山村交流施設管理運営費 決算額 1,161万円(1,167万円)

中頓別町山村交流施設(ピンネシリビレッジファームパーク)の施設管理運営費です。

- 中頓別町山村交流施設の管理の代行のための指定管理料 1,161万円
 - ・管理施設—ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ(道の駅「ピンネシリ」)、オートキャンプ場、ふるさと生活体験館、コテージ)、砂金掘体験場
 - ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
 - ・指定期間—平成18年4月1日～平成21年3月31日 3年間

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営費 決算額 369万円(368万円)

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

- 中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理の代行のための指定管理料 369万円
 - ・管理施設—管理棟、駐車場、指定区域内、外整備施設等
 - ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
 - ・指定期間—平成19年4月1日～平成21年3月31日 2年間

ピンネシリ温泉管理運営費 決算額 1,249万円(1,248万円)

ピンネシリ温泉(ホテル「望岳荘」)の施設運営費です。

- 中頓別町ピンネシリ温泉の管理の代行のための指定管理料 1,000万円
 - ・管理施設—温泉(入浴)施設、宿泊施設
 - ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
 - ・指定期間—平成18年4月1日～平成21年3月31日 3年間
- 施設設備、修繕料等 249万円

観光協会事業補助 決算額 535万円(535万円)

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進めている観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興に努めました。

- 人件費、鍾乳洞まつり、ピンネシリ岳山開き、ピンネシリ岳登山道草刈、観光宣伝事業費等

観光イベントの振興 決算額 92万円(92万円)

町民と観光客に楽しんでもらう各種イベントに助成しました。

- ・北緯45度夏まつり 20万円

・北緯45度度しばれまつり

72万円

イベント名	行事日程	入込客数
鍾乳洞まつり	6月1日(日)	2,500人
敏音知岳山開き	6月15日(日)	620人
ライダーハウス開村	7月1日(火)～9月30日(火)	162人
第29回北緯45度夏まつり	8月3日(日)	2,500人
第21回砂金まつり	8月15日(金)	100人
第26回北緯45度しばれまつり	1月31日(土)	1,000人

ライダーハウス開設事業

決算額 3.5万円(3.5万円)

中頓別町の観光PRやイベントの参加、町民とのふれあいの場を持つことによる地域の活性化を目指すため、ライダー等の無料宿泊所を開設しました。

土木費

〈道路維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

道路台帳整備業務

決算額 84万円(90万円)

道路台帳は、町道を管理するために必要な道路の現況や用地を確認するため、また、道路の維持管理に要する費用として交付税措置がなされるため、図面及び調書を整備するために必要な台帳整備です。

- ・ 毎年、道路工事などで変更が生じた分を修正しました。

除雪・排雪業務

決算額 2,688万円(3,168万円)

冬期間の快適な生活環境づくりのために、町道や公設駐車場などの除雪・排雪業務を行ないました。

道路維持補修業務

決算額 99万円(100万円)

除雪で傷んだ町道の舗装補修などを行いました。

道路維持補修用原材料費

決算額 25万円(77万円)

未舗装道路の補修に使用する砕石、ダスト、道路側溝トラフやコンクリート管などを購入するためのものです。

道路区画線補修業務

決算額 43万円(45万円)

町道における歩行者及び交通車両の安全を確保するために、センターラインや外側線などを補修しました。

トイレ清掃委託業務 **決算額 18万円(18万円)**
上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちます。

笹の川コンクリート蓋設置工事 **決算額 10万円(15万円)**
笹の川の、笹の川2号橋(農業改良普及センター向かい)手前の明渠区間11.5mに、転落防止のため、町道4条通り線整備工事で不用となったPC版を設置しました。

ロータリー除雪車購入事業 **決算額 2,708万円**
平成8年度に購入したロータリー除雪車が、長年の稼働によって更新が必要となり、同タイプのロータリー除雪車(13t+74kw)を購入しました。

〈橋梁維持費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

橋梁維持費 **決算額 0万円(10万円)**
執行はありませんでした。

〈道路新設改良費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

町道の整備事業 **1億5,000万円(国費 7,600万円)**
本年度は、国庫補助事業・起債事業として継続分3路線を行いました。

○継続事業 3路線
道路改良舗装工事

町道中頓別弥生線道路整備事業(改良・舗装)

改良工事：長さ=354m 幅=5.5m 歩道3.5m(片歩道)

舗装工事：長さ=370m 幅=5.5m 歩道3.5m(片歩道)

施工場所：旧弥生ゴミ捨て場付近から国道に向かったところ。

町道1条通り線道路整備事業

改良・舗装工事：長さ=119m 幅=5.5m 歩道=2.0m(両歩道)

施工場所：郵便局さんから三浦さんまでの区間。

(全体計画は北碓石油(株)～除雪センターまでの約830m)

町道7丁目線道路整備事業

改良・舗装工事：長さ=155m 幅=4.0m 歩道=2.5m(片歩道)

施工場所：大法寺さんから森林組合さんまでの区間。

(1条通り線部分の35mは不施工となります。)

〈河川総務費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

樋門・樋管管理委託業務

決算額 46万円(68万円)

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように、稚内土木現業所が管理している2級河川の頓別川、兵知安川にある30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

〈住宅管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

公営住宅などの管理費

決算額 359万円(416万円)

公営住宅小破損修繕料一式(畳・材料のほか火災保険料等含む)

住宅の修繕・維持管理にかかる費用

平成20年4月1日現在の管理戸数 306戸

・公営住宅 287戸

〈住宅建設費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

持ち家住宅の建設促進

決算額 0万円(240万円)

住宅建設助成金の執行はありませんでした。

消防費

〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

救急救命士病院実習

16.6万円(22.3万円)

救急救命士(3名)が、救急救命処置に関する知識と技術の向上を目的に研修しました。

消防学校初任教育派遣

45.1万円(47.4万円)

消防に関する基礎的知識と技術を習得するため派遣しました。

消防学校救急標準課程

18.0万円(18.3万円)

救急隊員に必要な知識と技能を修得するため派遣しました。

タンク車(天竜)の水槽及び配管修繕

120.8万円(125.7万円)

腐食した水槽と配管を修繕しました。

消防車冬用タイヤ購入

10.9万円(15.6万円)

劣化したスタッドレスタイヤを更新しました。

消火用ホース購入 8. 0万円(9. 4万円)

劣化した消火用ホース2本(65mm)を更新しました。

全道火災予防運動

春と秋の火災予防運動を実施。

初日、最終日には職員による車輛パレードを実施しました。

また、秋の予防運動初日に幼児消防クラブ員による防火パレードを実施し、火災予防を呼びかけました。

- ・春季運動期間 4月20日～ 4月30日
- ・秋季運動期間 10月15日～10月31日

救急の日(9月9日)

毎年9月9日は「救急の日」です。これに伴い救急の日記念ゲートボール大会を防犯協会と共催しました。

また、応急処置の講習会も開催し、救急業務に対する町民みなさんのご協力とご理解をお願いしました。

119番の日(11月9日)

毎年11月9日は「119番の日」です。災害発生時における消防への通報訓練を事業所、商店、町民のみなさんをお願いして訓練を実施しました。又、町民の要請と期待に答えるよう「出動、放水、救助訓練」を実施し万全を尽くしました。

教育費

〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育団体への助成 決算額 360万円(453万円)

本町の教育の振興と発展のため学校関係団体、社会教育関係団体、に対し運営費の一部を補助しました。

- ・ 学校教育関係団体(6団体) 343万円
- ・ 社会教育関係団体(2団体) 17万円

〈住宅管理費〉

教職員住宅の整備 決算額 338万円(408万円)

平成18年度から3年間で計画的に実施してきた水洗化工事が本年4戸をもって完了しました。

また、住宅環境充実のため、予算の範囲で営繕に努めてきました。

- ・ 水洗化工事実施戸数 4戸(中小2、中中2) 303万円

・ 営繕費用

35万円

〈学校管理費〉

特別支援教育支援員の配置

決算額 66万円(74万円)

複数の障害種別に対応した教育を行うため、中頓別小学校の求めに応じ、特別支援員を配置し、児童の適切な支援に努めました。

学校管理備品の購入

決算額 43万円(41万円)

中頓別小学校の管理備品として、耐用年数を経過したカーテン、児童用椅子を購入し、校内環境整備に努めました。

学校施設の清掃

決算額 10万円(10万円)

校内環境整備のため、中頓別小学校のカーペットのクリーニングを実施しました。

学校評議員制度の充実

決算額 0万円(8万円)

学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となった子どもの健やかな成長を図っていくために、また、より一層地域に開かれた学校づくりの推進をするために導入した学校評議員制度の活用・充実に努めました。当初予算計上しましたが、無償でお願いしました。

〈教育振興費〉

総合的な学習の時間の取り組み

決算額 22万円(28万円)

中頓別町の恵まれた自然と地域の伝統などを教材に地域の方々のご支援をいただきながら環境学習や郷土学習、多様な体験活動学習などができるよう支援しました。

小頓別小中学校では、閉校の年でもあり、「地域」を一つのテーマに設定し、環境や歴史などの追究がなされ、そのまとめ、発表では地域の方々からも大きな賞賛の言葉をいただきました。

教育備品の購入

決算額 45万円(45万円)

児童・生徒に必要な資料活用能力を高めるため、学校図書の実用性を図りました。

就学援助等の事業

決算額 92万円(76万円)

教育の機会均等を図るため、小・中学校に在学する児童生徒が就学援助を必要とする場合には、その家庭に対し学用品や給食費などを援助しました。

青少年研修交流事業

決算額 85万円(71万円)

姉妹町「大崎上島町」との中学生同士による交流活動が、過疎に悩む両町の次代を担う青少年が郷土を見つめなおし見聞を広げる機会となるため、研修・交流経費の一部を補助

しました。

〈社会教育総務費〉

学習機会提供事業

国際化、情報化の進展や学校週5日制、少子高齢化などにより住民の生活環境が大きく変化する中、自己のライフステージにあわせ自ら積極的に取り組む意欲を啓発し、その学習機会の提供に努めました。また、「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」により地域にあるものを活かしたまちづくりと生涯学習の推進を図りました。

少年への学習機会提供事業 決算額 5万円(9万円)

- ・チャレンジクラブ・中頓別いいとこ探し隊の開催 カヌー体験、星空観察会、化石レプリカづくり、餅つき体験、雪遊びの5事業を実施しました。
- ・各種体験活動の開催 ふるさとの森自然体験、小頓別山村留学カヌー体験、釣り体験、砂金掘り体験など様々な体験活動を実施しました。
- ・ふるさと少年教室の開催 チャレンジクラブと合同で、餅つき体験、紙飛行機づくりを実施しました。
- ・町内こどもオセロ大会の開催 11月15日 25名参加
- ・町内こどもカルタ大会の開催 1月10日 24チーム、72名参加

青年、成人、女性への学習機会提供事業 決算額 3万円(7万円)

- ・成人式の開催 1月5日 13名
- ・英会話教室の開催 週3回 9名
- ・女性学級の開設(1地域) 上駒女性学級の活動

高齢者への学習機会提供事業 決算額 3万円(12万円)

- ・定例学習会の開催(高齢者教室 寿大学) 通年(7回)
(教養講座、宗教講座、健康講座)
- ・修学旅行の実施(1泊2日) 層雲峡 10月20日～21日 10名
- ・町外1日研修視察の実施 中川町 6月30日 49名
- ・学校祭の実施 10月31日 74名

中頓別町まちづくり・生涯学習推進事業 決算額 0万円(4万円)

- ・学校支援地域本部事業と共催で実施しました。

学校支援地域本部事業 決算額 123万円

学校支援地域本部は、学校を支援するため地域の方々をボランティア(生活職人)として紹介・派遣する仕組みで、地域につくられた「学校の応援団」として、学校・家庭・地域が一体となり、地域で子どもたちを育てるよう組織された団体です。この事業を今年から3年間実施され、今年度は以下の事業を実施しました。

- ・まなびネット「生活職人（地域ボランティア）」の設置
食の職人 5件、自然体験の職人 15件、文化スポーツの職人 32件
- ・成果報告会（生涯学習推進フォーラム）の開催 3月6日 37名

芸術文化鑑賞事業 決算額 83万円(90万円)

児童生徒及び町民に優れた芸術鑑賞機会の提供するとともに、文化祭等に於いて、町内文化団体・サークルの育成と発表機会の充実を図りました。

- ・児童生徒鑑賞事業の開催（スーパーアコースティックギター：谷本光コンサート）
9月18日 小中学生、一般の鑑賞 210名
- ・町民芸術鑑賞会の開催（白田路明・津軽三味線ライブ） 12月26日 50名
- ・町民文化祭の開催（作品展示、芸能発表、文化スポーツ表彰）
10月31日～11月2日

文化財保護・活用事業 決算額 0万円(3万円)

鍾乳洞周辺の環境整備も本年度で完了し、新たに森林浴を楽しめる散策路が4コース増え、既存のすこやかロードと合わせると10コースの散策路ができあがりました。鍾乳洞の安全対策と有効活用を観光担当と連携して実施し、保全保護に努めました。

外国青年招致事業（英語指導助手） 決算額 360万円(360万円)

こども館、小中学校、地域の英会話サークルなど、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。

- ・こども館 ポーセン先生と英語であそぼう 月曜日（午前）
- ・小学校 中頓別小学校 ウェルカム教室 火曜日（午前）、金曜日（午前）
小頓別小学校 総合的な学習 木曜日（午前、午後）
- ・中学校 中頓別中学校 コミュニティ英語 水曜日（午前、午後）
小頓別小学校 コミュニティ英語 木曜日（午前、午後）
- ・英会話教室 火曜日（午後、夜間）、金曜日（午後）
- ・カンフー教室 水曜日（夜間）

〈町民センター費〉

暖房機改修工事事業 決算額 892万円(930万円)

昭和53年に建設された町民センターのボイラー配管等の老朽化に伴い、改修工事を実施しました。

備品購入事業 決算額 61万円(70万円)

町民センターの除雪機械を経年劣化のため入れ替えました。

〈社会教育施設費〉

図書購入事業

決算額 68万円(63万円)

青少年会館図書室の蔵書の充実を図るため、児童書や一般向け図書を購入しました。

学習機会提供事業

決算額 3万円(11万円)

- ・ブックスタートパック（絵本2冊）の配付 6ヶ月検診時 9名
- ・本の読み聞かせの実施 1歳・1歳半・3歳児検診に合わせて

〈創作活動施設費〉

中頓別町創作活動施設（ゆめクラブ）の充実

決算額 38万円(67万円)

創作活動施設「ゆめクラブ」の管理運営を文化協会に委託しましたが、教育委員会事務局の勉強不足で指定管理者でなければならない全面委託を行っていました。このことについて、文化協会と町民に多大なご迷惑をおかけしたことを深く反省し、今後も町民の皆様と文化協会のお力添えをいただき、文化活動を推進してまいりますので、よろしく願いいたします。また、施設については、平成21年2月から直営で管理運営しています。

〈保健体育総務費〉

学習機会提供事業

決算額 35万円(56万円)

町民のスポーツの活性化に向けて、地域スポーツ団体やサークルと連携協力し、各種スポーツ教室・大会を開催しました。

〔教室関係〕

- | | | |
|--------------------------|---------|-----|
| ・少年少女スキー教室の開催（浜頓別町教委と共催） | 1月7日～9日 | 57名 |
| ・一般スキー教室の開催 | シーズン7回 | 2名 |
| ・歩くスキー教室の開催 | シーズン5回 | 15名 |

〔大会関係〕

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| ・町民パークゴルフ大会の開催 | 5月11日 | 55名 |
| ・町民ソフトボール大会の開催 | 7月13日 | 5チーム |
| ・町民駅伝競技大会の開催 | 8月31日 | 16チーム |
| ・町民ソフトミニバレーボール大会の開催 | 2月20日 | 10チーム |
| ・宗谷管内ジュニアアルペン競技大会の開催 | 1月12日 | 41名 |
| ・町民スキー大会の開催 | 3月1日 | 60名 |
| ・春の歩くスキー遠足の開催 | 4月6日 | 13名 |
| ・室内ゲートボール大会の開催 | 3月21日 | 4チーム |

スポーツ団体の育成

決算額 14万円(27万円)

スポーツ活動を通して、健全な心と体を培うとともに、スポーツ団体の育成を図りました。

- | | | |
|-----------------|-----|----------|
| ・各スポーツ少年団活動への支援 | 通年 | 4団体 |
| ・体育の日記念事業の開催 | 10月 | 体育連盟加盟団体 |

〈寿野外レクリエーション施設費〉

中頓別町社会教育施設等管理運営費 決算額 1,838万円(1,838万円)

中頓別町社会教育施設等(寿スキー場、ふれあいスポーツ広場、テニスコート、パークゴルフ場、ゴルフ練習場、青少年宿泊研修センター、寿公園)の管理は有限会社中頓別振興公社が指定管理者として管理の代行し、運営しました。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

国民健康保険事業 決算額 2億9,457万円(2億8,484万円)

国民健康保険とは、日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたとき、安心して病院にかかることができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんが負担(保険税)しあう制度です。

医療給付事業 1億8,426万円

疾病時の入院や入院外(外来受診)の医療費を支出します。

高額療養費 1,768万円

1ヵ月の医療費の患者負担分(一部負担金)が高額になったとき、限度額を超えた分が高額療養費として、後から払い戻されます。

後期高齢者支援金 2,754万円

平成20年度から実施される後期高齢者医療制度に対する支援制度です。

前期高齢者納付金 4万円

老人保健拠出金 911万円

介護納付金 1,234万円

平成19年度第2号被保険者納付金見込み額を納付します。

共同事業拠出金 3,459万円

出産育児一時金(1人 35万円) 0万円

葬祭費(1人 1万円) 3万円

保健事業費 200万円

特定健診を実施し、病気の早期発見と予防事業に係る経費を支出します。

直診勘定繰出金 360万円

病院の医療機器整備等に係る費用を助成します。

老人保健事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

老人保健事業 決算額 3,874万円(3,579万円)

平成14年度に老人保健制度が改正され、受給対象年齢が従来の「70歳以上」から「75歳以上」に引き上げられ、老人保健対象の方については「老人保健制度」で一般より負担

額の低い一部負担金の適用を受けられ、医療機関窓口負担が一定限度額を超えたときは、高額医療費として払い戻されます。後期高齢者医療制度の開始により、この制度は廃止されました。

後期高齢者医療事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

後期高齢者医療事業 **決算額 2,577万円(2,587万円)**

後期高齢者医療事業は、老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立され事業の運営に当たっており、市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡しなどの業務を行っております。

水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

簡易水道事業 **決算額 8,503万円(8,409万円)**

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

本年度につきましては、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めてまいりました。

下水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

下水道事業 **決算額 1億2,082万円(1億1,994万円)**

下水道事業は、公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っております。

本年度につきましては、下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めてまいりました。

介護保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護保険事業 **決算額 1億7,800万円(1億8,449万円)**

介護保険制度は、平成18年4月に制度改正されて、サービスの充実が図られました。

介護保険料につきましても、従来の第2段階が細分化され、低所得者に対する軽減が図られました。また、税制改正に伴う激変緩和措置がとられております。

介護保険事業(平成21年3月31日現在)状況は次のとおりです。

総人口	2,081人
40歳以上人口	1,430人
65歳以上人口	697人

第1号被保険者数	668人
要介護（要支援）認定者	127人
居宅介護（介護予防）サービス受給者	675人（延利用者数）
施設介護サービス受給者数	36人

国民健康保険病院事業会計

（担当：国保病院）

医療機械器具等整備事業 決算額 280万円(335万円)

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化、故障した医療機器等を更
新いたしました。

電動ギャジベッド	1台
手動ギャジベッド	2台
シリンジポンプ	3台
ストレッチャー	1台
病室用エアコン	4台
冷凍冷蔵庫（給食用）	1台
待合室ロビーソファ	10台

医師住宅整備事業 決算額 1,796万円

築後25年以上経過し、老朽化が著しい医師住宅を新築しました。

医師住宅	1戸
医師住宅用車庫	1台